

平成 30 年 3 月 14 日

報道関係各位

一般社団法人 電子情報技術産業協会

「JEITA ベンチャー賞」受賞 6 社が決定 — Society 5.0 の実現に向けた、ベンチャー企業との共創・連携を促進 —

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 長榮 周作）は、本日、「JEITA ベンチャー賞」の受賞企業、6 社が決定したことを発表しました。JEITA ベンチャー賞は、電子情報技術産業の総合的な発展のみならず、経済発展に貢献しうるベンチャー企業を表彰するもので、過去には株式会社 Preferred Networks や株式会社 MUJIN など気鋭のベンチャー企業、計 15 社が受賞しており、本年が 3 回目の取り組みとなります。

JEITA では現在、Society5.0 の推進、および CPS/IoT の社会実装による新たなビジネスの創出によって、業界をさらに発展させることを目指し、事業を展開しています。JEITA ベンチャー賞はその取り組みの一環であり、IT・エレクトロニクス業界の発展に繋がるベンチャー企業を支援するとともに、JEITA 会員企業とスタートアップ（優良ベンチャー）企業との共創・連携・エコシステムの構築支援を目的としたものです。

JEITA 会長の長榮周作は「今回は、AI（人工知能）やセキュリティ分野の企業も受賞企業に名を連ね、今まで以上に多種多様な顔ぶれとなりました。Society 5.0 を実現するためには、さまざまな社会課題に対してあらゆるテクノロジーをフル活用する必要があり、そのためには、単独のアプローチのみならず、業種・業界を超えて、各社が持っている強みを共創していくことが求められています。2016 年に創設した JEITA ベンチャー賞は、JEITA の会員企業とベンチャー企業の新たなパートナーシップの創出・連携などを生み出すきっかけとして定着し始めており、今後はより一層の共創を促していきたいと考えています」と述べています。受賞企業が JEITA への入会を希望する場合は、昨年導入した「ベンチャー優遇特例制度」（JEITA ベンチャー賞を受賞した企業等が正会員として新規に入会する場合、申請により協会会費の負担を 2 年間免除する仕組み）を活用することができます。

受賞した 6 社のベンチャー企業には JEITA の活動に参画いただくほか、これまでの家電見本市の枠を超え、Society 5.0 の実現を目指す CPS/IoT 総合展「CEATEC JAPAN」への出展や JEITA が主催するシンポジウムやセミナーなどへの参画も予定しています。特に、CEATEC JAPAN 2018 においては「スタートアップ、大学、大企業そして投資家を結ぶ」をテーマにして、「スタートアップ・ユニバーシティエリア」を設置することが既に決定しており、展示はもちろんのこと、起業家との座談会やネットワークイベントなども実施することで、従来以上に注目が集まるエリアとして展開していく予定です。

JEITA はベンチャー企業との共創・連携を促進し、Society 5.0 および CPS/IoT の社会実装をさらに推進していくことで、わが国が直面する社会的課題の解決と新たなビジネスの創出を目指してまいります。今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

【受賞企業 6 社と審査評価の概要】（社名五十音順）

株式会社アスター

代表者：本郷 武延（代表取締役）

本社所在地：秋田県横手市平鹿町浅舞字道川北 18-3

【審査評価】

(株)アスターは、独自の積層技術を用いた理想的なモータコイルの形状設計により、従来の 1.5 倍の高密度化を実現するとともに放熱性にもすぐれた「アスターコイル」を実用化した。これは、モータの高出力化・小型化につながり、車載用モータばかりでなく、航空宇宙、家電、発電など様々な分野への適用により省エネルギー効果や産業競争力の強化が期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

株式会社 ABEJA

代表者：岡田 陽介（代表取締役社長 CEO 兼 CTO）

本社所在地：東京都港区虎ノ門 4-1-20 田中山ビル 10 階

【審査評価】

(株)ABEJA は、小売業に向けた店舗解析ツールを提供している。AI（ディープラーニング）技術を駆使したビッグデータ解析を実行することを特徴とする。カメラ画像から顧客数・顧客年齢・顧客の店舗内導線の歩き方などを分析、さらには天気・地理情報なども加味したうえで、店舗の業務改善の在り方を提案する。店員の感覚・ノウハウに頼ることなく、科学的なデータに裏打ちされた店舗設計が可能になる。IT 専門家のいない中小店舗でも、AI 利活用が推進するほか、海外への事業展開も期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

Hmcomm 株式会社

代表者：三本 幸司（代表取締役 CEO）

本社所在地：東京都港区虎ノ門 2-9-14 郵政福祉虎ノ門第一ビル 4 階

【審査評価】

Hmcomm(株)は、産総研で開発された音声認識技術を実用化し、音声認識に特化した AI プラットフォームによるソリューション・サービスを提供している。窓口やコールセンター等での対人業務における会話のテキスト化、無人の音声受付等が実現可能である。また、騒音環境下での音声認識が優れており、車両や工場・プラントの機械装置の AI 異音検知による故障検知や予知への活用が可能である。今後、「音声ビッグデータ」のビジネスリソースとしての利活用への貢献が期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

株式会社 ZenmuTech

代表者：田口 善一（代表取締役社長）

本社所在地：東京都品川区西五反田 2-8-1 五反田ファーストビル 4F

【審査評価】

(株)ZenmuTech は、暗号化技術と、分散技術を組み合わせた「秘密分散処理」により、情報の漏洩防止を可能にするソリューションやデバイスを提供している。データ生成時にデータをブロックに分割して、各々を暗号化させることと、暗号化されたブロックを複数の異なるデバイスに分散配置することにより、情報の漏洩を事実上不可能にしている。この秘密分散処理に基づいたソリューションは、近年頻発するサイバー攻撃に対しての強い防御手段となる、シン端末や IoT デバイスの一層の利用普及が可能となる。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

PGV 株式会社

代表者：柳澤 修（代表取締役社長）

本社所在地：東京都中央区日本橋 2-15-5

【審査評価】

PGV(株)は、大阪大学で発明された微小信号処理技術とフレキシブルエレクトロニクス技術をベースに、パッチ式脳波センサの製造・販売および脳情報ビッグデータを活用した脳波ビジネスを提供している。PGV(株)が手がける小型で無線計測可能なシート型脳波センサ（厚さ 6mm、重さ 24g）は、既存の大型特殊装置と同等レベルの計測精度を実現し、脳波計測を誰でも手軽に行える身近なものにして、医療・ヘルスケア・睡眠・注意力モニタリング・ニューロマーケティングなど、今後幅広い領域での発展が期待できる。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

株式会社フォルテ

代表者：葛西 純（代表取締役社長）

本社所在地：青森県青森市古川 3-22-3 古川ビル 3 階

【審査評価】

(株)フォルテは、骨伝導ヘッドセットなどによる騒音環境下等での音声ソリューション及び車両等の移動体や人の管理のための位置情報ソリューションを提供する IoT 端末の開発を行っている青森県に拠点を置くベンチャーである。地域拠点の特性を生かし、自治体や観光業者との連携により地域産業の振興につながるサービスの社会実装の実証に取り組んでおり、今後地方発から EXIT を目指すベンチャーのロールモデルとしても期待される。よって JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

以上

【本件に関するお問合せ先】

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA) 総合企画部 広報室 (担当：吉田)

TEL : 03-5218-1053 E-mail : press@jeita.or.jp